

★ リンクピッチの () 内は基本寸法を示す

— 14 —

モデル名

D20A-8EO

D20P-8EO

D20PL-8EO

D20PLL-8EO

D21A-8EO

①

■ 点検

▲ 警告

2人で作業し、運転者は作業者の合図に従って車両を動かしてください。とくに測定中は絶対に動かさないでください。履帯の張りの点検は車体上げて行うので、点検時、誤って車体を落下させると非常に危険です。

ゴムシューの継目部（M印）を車軸間中心上側にして、ブレードで車体を上げ、スプロケットから3番目のトラックローラ路面と履帯のローラ転動面とのスキマが15～20mmあれば標準です。

25mm以上になっていたら、張りの調整が必要です。

点検姿勢

②

■ 点検

平地に車を止め（前進でブレーキをかけないで止まる）まっすぐな棒を右図のようにキャリアローラとアイドラの間に乗せたとき、棒とグロサとの間が中央で20～30mmあれば標準の張りです。

標準の張りでないときは、つぎのように調整してください。

③

オイル封入履帯

シングル履帯

湿地シュー

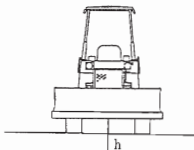
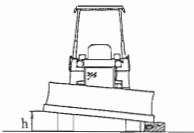
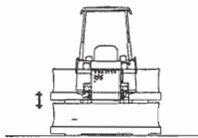
③

乾式履帯

シングル履帯

No.	項目	判定基準	
		基本寸法	許容限度
1	リンクピッチ	135.25	138.2
13	レギュラボルト 締付トルク	初期: 68.6 ± 9.8 Nm (7 ± 1 kgm). 増締め角: 90 ± 10°	
14	マスタボルト 締付トルク	初期: 68.6 ± 9.8 Nm (7 ± 1 kgm). 増締め角: 180 ± 10°	

No.	項目	判定基準	
		基本寸法	許容限度
1	リンクピッチ	135.25	—
15	シューボルト 締付トルク	初期: 68.6 ± 9.8 Nm (7 ± 1 kgm). 増締め角: 90 ± 10°	

D21P-8E0		D21PL-8E0							
項 目	測 定 条 件	単位	基 準 値 (新 車)		故障判定 基 準 値				
			D20 -7	D21 -7	D20 -7	D21 -7			
④	ブ レ ー ド  ★ブレード地上から 300mm	mm	100		100				
	ブレードチルト (チルト時本体降下量)  ★ブレード側端をブロックに乗せてチルトで車体をいっばいに上げる。 ・上記の姿勢からブレードの降下量hを測定する。 ・水平・平坦地 ・レバー中立 ・エンジン停止 ・作動油温：40～60℃ ・セッティング直後に測定開始 ・15分間経過後の降下量を測定する。		50		50				
⑤	リフト ブ レ ー ド (PAT 車) ・接 地 ⇕ 上 昇 順 	上 げ 秒	1.8		1.8				